

県債現在高について

平成23年度当初予算の県債発行予定額は1,310億4,900万円ですが、これに平成22年度からの繰越分を加えると1,359億5,700万円となり、その結果、県債現在高は平成23年度末で1兆2,254億2,000万円となる見込です。

県債の状況

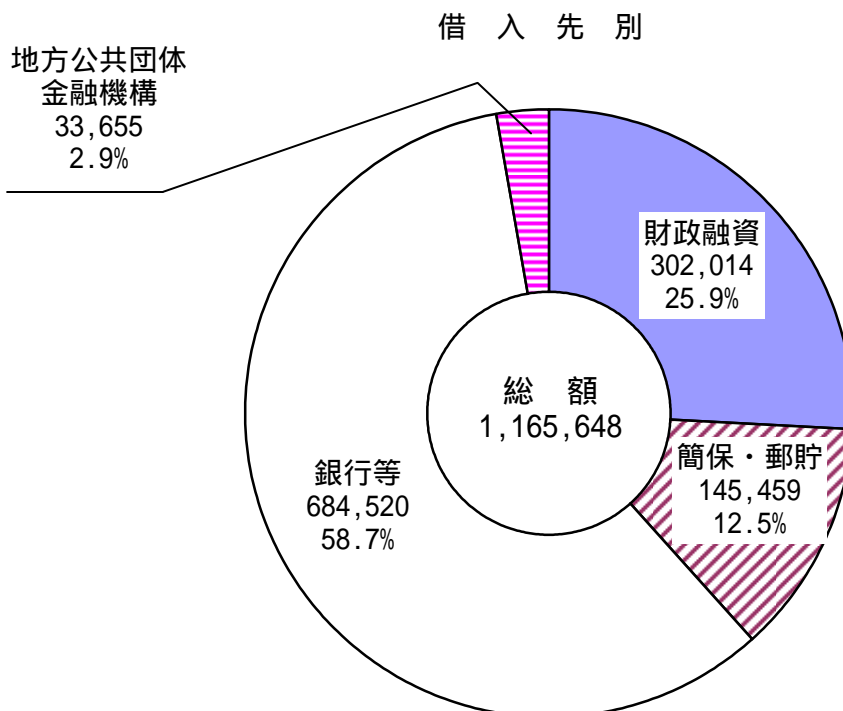
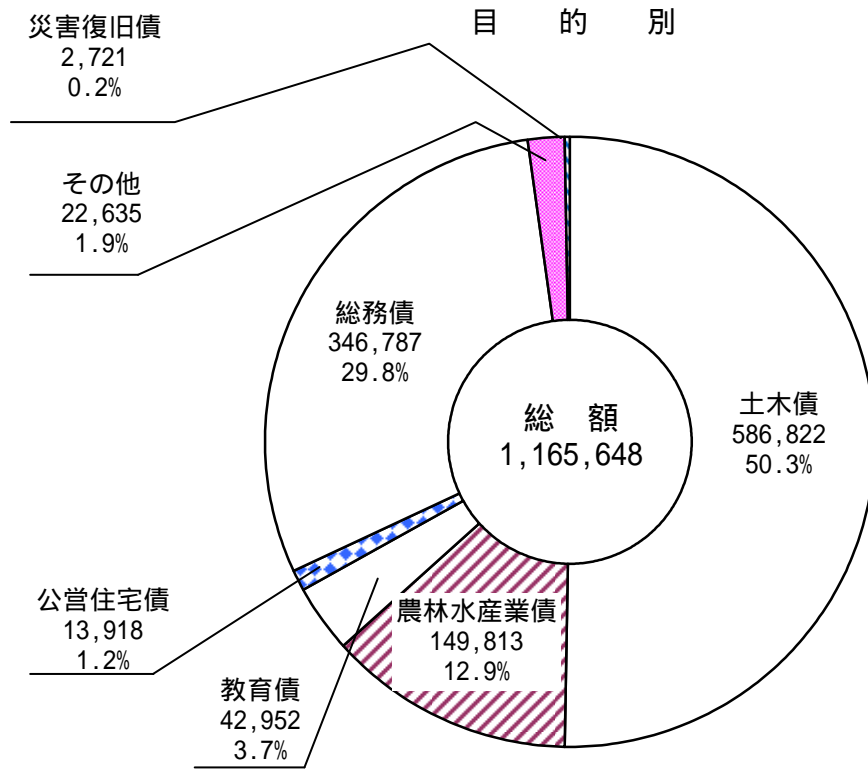
(単位：百万円)

区 分	22年度末 現在高 見込額	23年度中増減見込		23年度末 現在高 見込額
		起債発行 予定額	償 還 予定額	
一般会計債	1,165,648	112,170	85,935	1,191,883
普通債	1,162,927	111,356	85,406	1,188,877
災害復旧債	2,721	814	529	3,006
特別会計債	32,116	23,153	23,612	31,657
母子寡婦福祉資金	757	47	0	804
農業改良資金	535	56	15	576
県営林	2,760	38	40	2,758
長崎魚市場	131	0	101	30
小規模企業者等設備導入資金	10,206	0	277	9,929
用地	0	0	0	0
港湾整備	15,588	1,806	1,891	15,503
流域下水道	2,139	10	92	2,057
公債管理	0	21,196	21,196	0
企業会計債	1,617	634	371	1,880
交通	1,617	634	371	1,880
計	1,199,381	135,957	109,918	1,225,420

また、県債現在高の内訳は次表のとおりですが、目的別にみると、道路、港湾、住宅など都市基盤の整備や地域振興を図るために充当された県債が大半を占め、借入先別にみると財政融資と銀行の資金で大半を占めています。

県債現在高の内訳（一般会計）

（平成22年度末見込、単位：百万円）



ポイント!

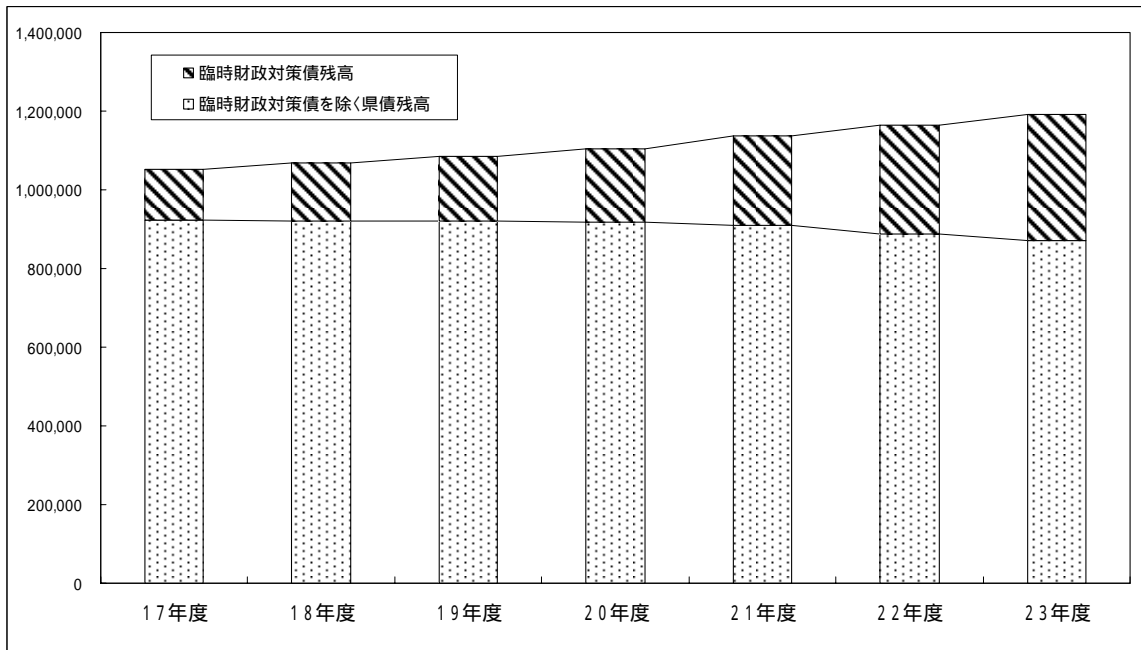
県債残高の推移

平成23年度末の県債残高は、1兆1,919億円を見込んでおり、近年増加傾向にあります
が、これは地方財源不足に対応するために発行した臨時財政対策債によるものです。

臨時財政対策債とは、地方交付税の振り替えに伴い発行が認められている特例地方債
(P.15参照)であり、平成23年度末の県債残高に3,201億円含まれていますので、これを
除いた県債残高は8,717億円となり、近年減少傾向にあります。

さらに、県債の約6割が後年度交付税措置されるものであり、国から手当のある有利
なものを優先的に活用しながら県政運営を行っています。

県債残高の推移



単位:百万円

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
県債残高	1,051,680	1,068,420	1,084,474	1,103,515	1,137,298	1,165,648	1,191,883
臨時財政対策債残高	127,746	148,335	165,256	184,764	226,376	279,150	320,134
臨時財政対策債を除く県債残高	923,934	920,085	919,218	918,751	910,922	886,498	871,749

平成23年度は当初予算